

＜学生版＞ 求職者の動向・意識調査 2023

Vol.2 「学生のアルバイト事情の今が分かる」

－ 在学中アルバイトへの意欲「ぜひ働きたい」「働いてもよい」が8割弱 －



株式会社リクルートの調査研究機関「ジョブズリサーチセンター」では、求職者の動向や意識を調査するために、隔年で「求職者の動向・意識調査」を実施しています。本調査は、その「求職者の動向・意識調査」の学生版として、高校生・大学生等に、在学中のアルバイトに関する動向や意識についてアンケートを行いました。

今回のレポートでは、学生のアルバイトの就業状況やアルバイトをする理由、現在のアルバイト先での働き方などを見ていきます。

【調査のポイント】

① アルバイトの就業状況と今後の意欲 (P4～6)

調査時点（2023年1月6日～1月13日）でアルバイトをしている学生は51.0%。大学生等が66.8%に対して、高校生は24.8%という結果でした。また、アルバイトをしている大学生等のうち、25.5%が「2つ以上のアルバイトをしている」と回答し、4人に1人がアルバイトを掛け持ちしていることが分かりました。

在学中のアルバイトに対する今後の意欲では、「ぜひ働きたい」と「働いてもよい」の合計が77.5%に上り、8割弱の学生が前向きな意欲を持っています。

② アルバイトをしている・していない理由 (P7～8)

アルバイトをしている学生に理由を尋ねると、「自由に使えるお金を稼ぐため」68.4%が最多で、2番目の「貯蓄・貯金のため」を25ポイント以上上回る結果となりました。ひとり暮らしの学生に絞って見ると、「自由に使えるお金を稼ぐため」58.7%に対して、「生計の維持のため」62.0%となり、日々の生活のためにアルバイトをしているという側面が強いようです。一方で、していない理由としては、「学業や資格取得との両立が難しい」が38.3%で全体としては最も多いですが、高校生に限れば、「学校から禁止されている」が42.7%で最多でした。また、学生から以下のような声も寄せられました。

（アルバイトをしている理由）

「自分で自由に使えるお金が欲しかったから」（大学1年生/塾講師、家庭教師、採点）
「ひとり暮らしのための生活費を稼ぐ必要があったから」（大学1年生/その他フード関連）

（アルバイトをしていない理由）

「就活と卒業研究で、アルバイトのための時間を取れなかった」（大学4年生）
「校則で禁止されているのと、勉強などに時間を使いたいから」（高校2年生）

③ アルバイト先での働き方 (P11～12)

アルバイト先での働き方について、1週間の勤務日数では、学期中では週2～3日が63.7%、長期休暇中では週3～4日が55.5%を占めています。また、大学生等と高校生で、勤務日数に大きな違いがないことも分かりました。

勤務する時間帯と時間数については、授業がある日では、授業終わりの15:00～21:00頃の勤務が多く、3時間～4時間程度働く学生が多いようです。一方、授業がない日では、9:00～15:00頃の比較的早い時間からの勤務が増え、勤務時間数も4～6時間程度が5割強を占めるほか、8時間以上働く学生も15.6%いることが分かりました。

参考調査

■ <学生版> 求職者の動向・意識調査 2018

<https://jbrc.recruit.co.jp/data/pdf/pdf201808081117.pdf>

■ 求職者の動向・意識調査 2021

https://jbrc.recruit.co.jp/data/pdf/kyushokusha_211222.pdf

目次

・ 調査のポイント	1
・ 目次	2
Part1 回答者プロフィール	3
性別、年代、学校種別・学年、居住地、暮らしの形態	
Part2 アルバイトの就業状況	4～6
・ アルバイトの就業状況 ・ 最近1年以内のアルバイト経験 ・ 単発アルバイトの経験 ・ 今後在学中にアルバイトをする意欲	
Part3 アルバイトをしている・していない理由	7～8
・ アルバイトをしている理由 ・ アルバイトをしていない理由	
Part4 現在のアルバイト事情	9～12
・ 現在のアルバイトの仕事内容 ・ アルバイト先の勤務場所 ・ 1週間の平均的な勤務日数 ・ シフトあたりの勤務時間数 ・ 主な勤務時間帯	
Part5 学生の収入状況	13～14
・ 毎月の収入金額 親からの小遣い・仕送り ・ 毎月の収入金額 アルバイト ・ 現在のアルバイトの時給 ・ アルバイト先での給与の受け取り方法	

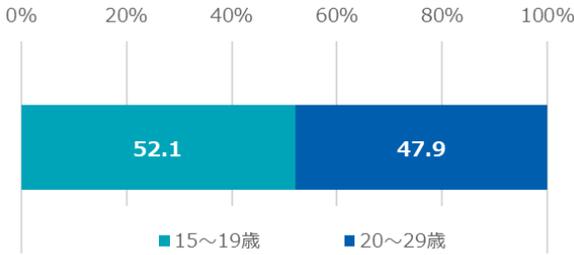
調査概要

	<学生版> 求職者の動向・意識調査 2023
調査目的	・ 労働市場における学生アルバイトの就業実態および意識を明らかにする ・ 学生のアルバイトに関する求職実態および意識を明らかにする
調査手法	インターネット調査（インテージ社モニター利用）
対象者条件	・ 全国15～29歳の男女 ・ 現在の職業が大学院生、大学生、短大生、予備校生、専門学校・各種学校生、高校生のいずれかの人 ※高校生以外を「大学生等」として集計した。
調査期間	2023年1月6日（金）～1月13日（金）
有効回答数	3,000人

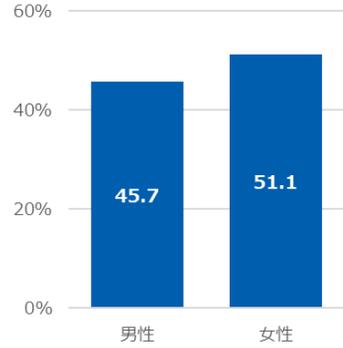
※レポート内のグラフと数表は、集計結果の小数点第2位を四捨五入して表示している。

Part1 回答者プロフィール

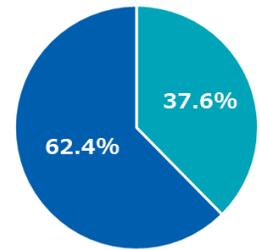
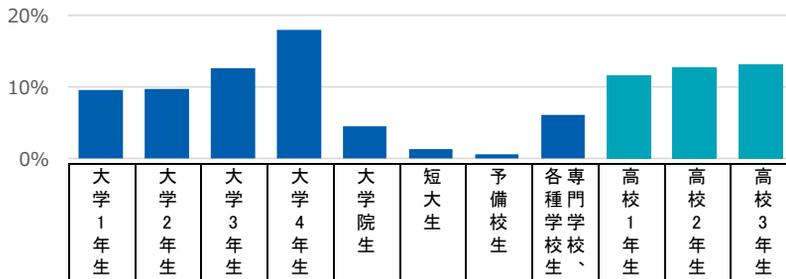
● 年代



● 性別



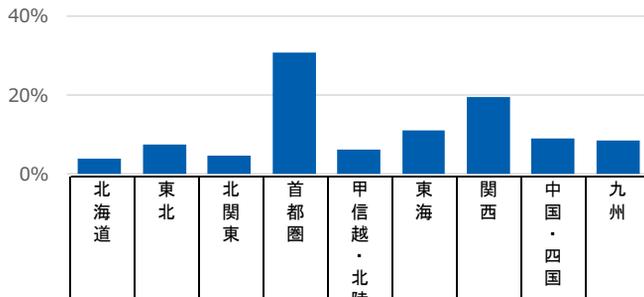
● 学校種別・学年



n=												
TOTAL	3,000	9.6	9.7	12.6	18.0	4.5	1.3	0.6	6.2	11.6	12.8	13.2
大学生等	1,872	15.3	15.6	20.2	28.8	7.2	2.1	0.9	9.9	0.0	0.0	0.0
高校生	1,128	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8	34.1	35.1

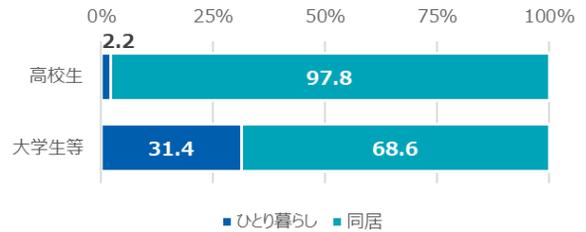
※「大学生等」には、大学生、大学院生、短大生、予備校生、専門学校、各種学校生が含まれる。

● 居住地



n=										
TOTAL	3,000	3.7	7.3	4.5	30.7	6.1	10.9	19.4	8.9	8.5

● 暮らしの形態

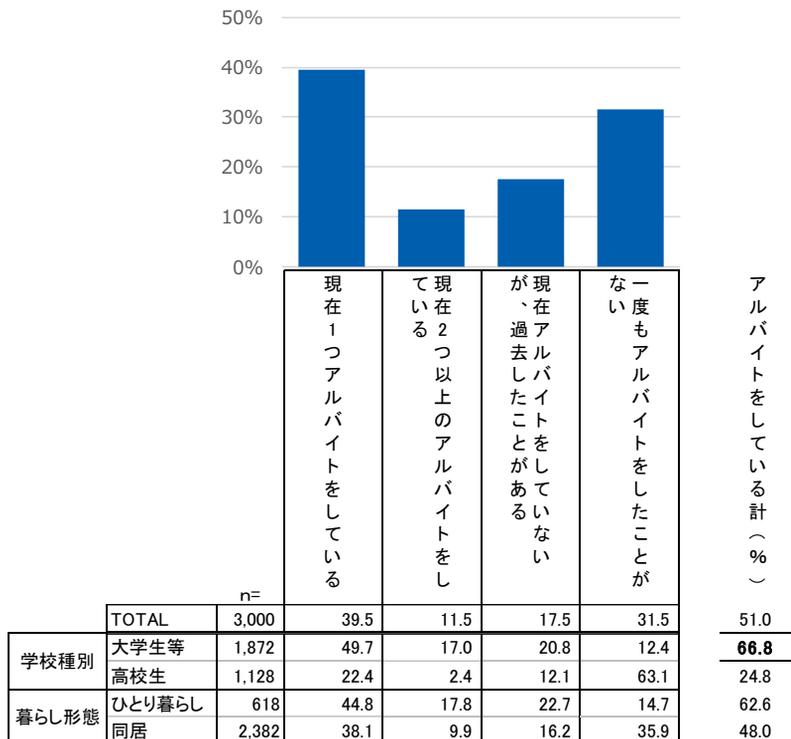


Part2 アルバイトの就業状況

調査時点（2023年1月6日～1月13日）のアルバイトの就業状況では、「現在アルバイトをしている」が51.0%という結果でした。大学生等では66.8%がアルバイトをしています、そのうち25.5%が「現在2つ以上のアルバイトをしている」と答えており、アルバイトをしている大学生等の4人に1人が掛け持ちしていることが分かります。

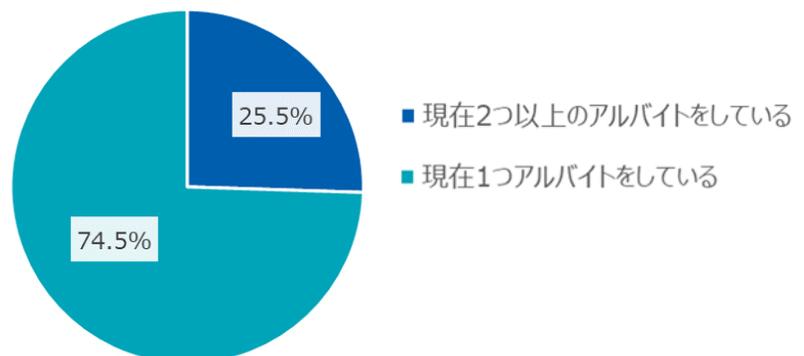
また、ひとり暮らしと同居では、ひとり暮らしでアルバイトをしている学生が62.6%に対して、家族など同居しながらアルバイトをしている学生が48.0%と、約15ポイントの差がありました。

● 2-1 アルバイト就業状況（単一回答）【対象者：全員】



≪参考≫ 大学生等のアルバイトの掛け持ちの状況

（単一回答）【対象者：大学生等×アルバイトをしている人（n=1,250）】

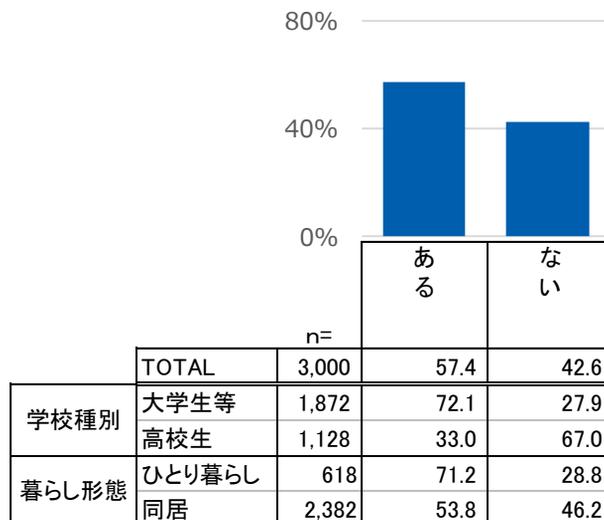


Part2 アルバイトの就業状況

最近1年以内（2022年1月～12月）のアルバイト経験では、「ある」が57.4%で、大学生等では7割を超えました。

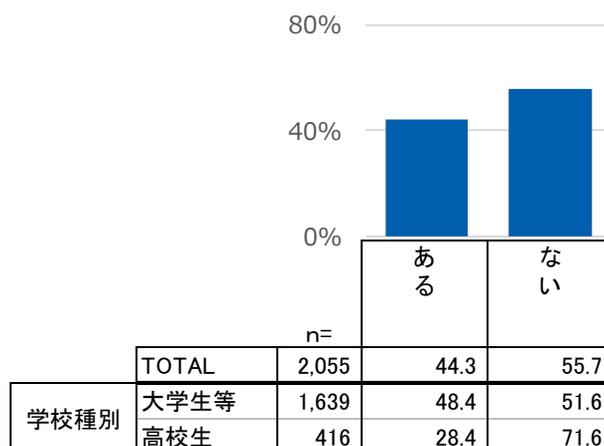
また、「一度もアルバイトをしたことがない」学生を除き、単発アルバイトの経験を聞くと、半数弱の44.3%が「ある」と回答しました。直近は、コロナ禍の影響で希望通りにシフトが入れず空き時間を活用したい、中長期で働けるアルバイト先が見つからないといった理由から、単発アルバイトを経験した学生もいたようです。

● 2-2 最近1年以内のアルバイト経験（単一回答）【対象者：全員】



● 2-3 単発アルバイトの経験（単一回答）【対象者：アルバイトをしたことがある人】

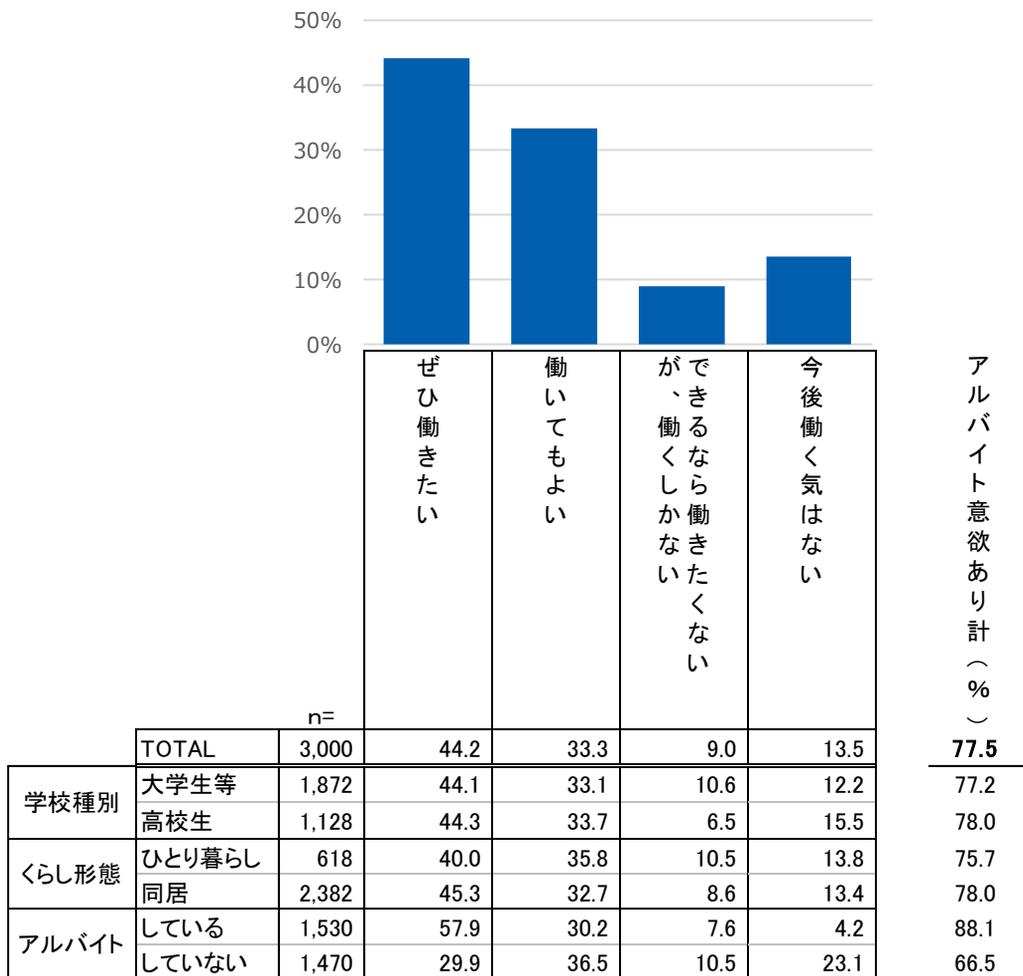
※本レポートでの「単発アルバイト」とは、その都度会社や職場が変わり、1日単位で働くアルバイトを指します。



Part2 アルバイトの就業状況

今後在学中にアルバイトをする意欲については、「ぜひ働きたい」44.2%、「働いてもよい」33.3%で合計77.5%に上りました。また、現在アルバイトをしている人が、していない人よりも、在学中のアルバイトに前向きであることが分かると同時に、していない人のうち約3割が「ぜひ働きたい」と答えています。学校の規則などで、アルバイトをしたくてもできない高校生などが含まれていることが想定されます。

● 2-4 今後在学中にアルバイトをする意欲 (単一回答)【対象者：全員】

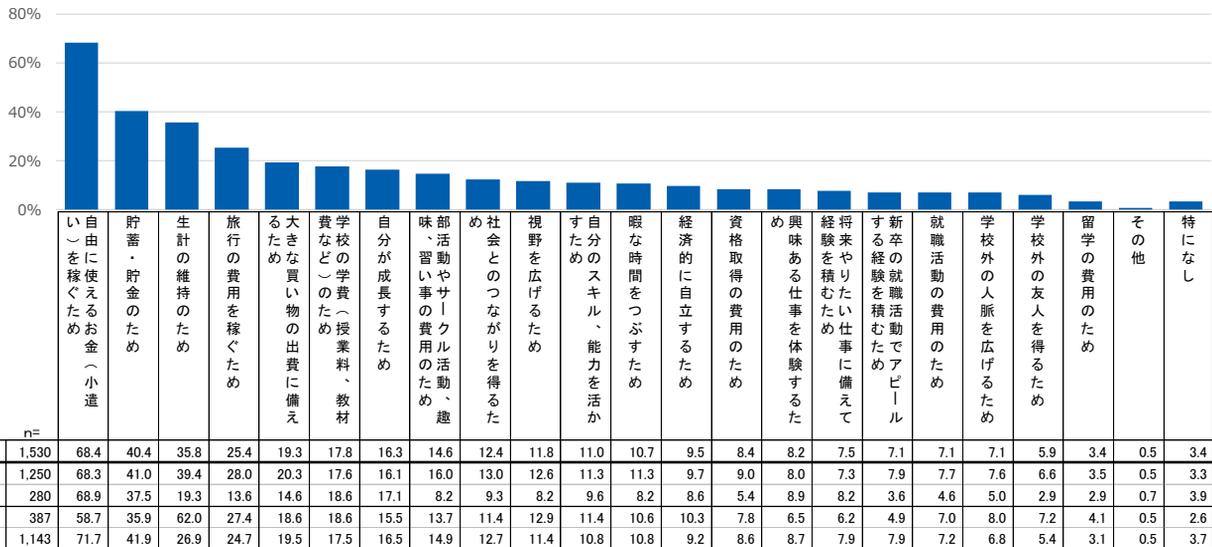


Part3 アルバイトをしている・していない理由

アルバイトをしている理由については、「自由に使えるお金を稼ぐため」が68.4%で最多で、2番目の「貯蓄・貯金のため」を25ポイント以上と大きく上回っています。ただ、ひとり暮らしでは、「生計の維持のため」が最多で、日々の生活のためにアルバイトをしている、という側面が強そうです。

本調査に参加した学生からのコメントでも、「趣味・娯楽に使いたい」「自由に使えるお金が欲しい」などのコメントが多く目立ちましたが、社会経験や就職活動を意識したコメントも見られました。

● 3-1 アルバイトをしている理由 (複数回答)【対象者：アルバイトをしている人】



● 3-2 アルバイトをしている理由に関するコメント (フリーコメント)【対象者：アルバイトをしている人】

※括弧内は学校種別・学年および、現在のアルバイトの仕事内容。

(大学生等)

● お金関連

- 「自分で自由に使えるお金が欲しかったから」(大学1年生/塾講師、家庭教師、採点)
- 「一時的に旅行のお金を稼ぐため」(専門学校、各種高校生/コンビニ・スーパー店員)
- 「ひとり暮らしのための生活費を稼ぐ必要があったから」(大学1年生/その他フード関連)
- 「学業が忙しくてアルバイトをしていなかったが、貯金額が減ってしまった」(大学院生/飲食店のホールスタッフ)

● 社会経験・就活関連

- 「時間に余裕ができたので、お小遣い稼ぎや社会勉強、新たな体験をしたかった」(大学1年生/コンビニ・スーパー店員)
- 「就職活動にあたって、アルバイトの経験があったほうが良さそうだったから」(大学4年生/その他販売店員)
- 「介護・福祉関係の仕事がしくて、家から近いところで見つけたから」(大学4年生/一般事務、スタッフ職)

● その他

- 「授業や部活の関係で、中途半端なスキマ時間を活用したかった」(大学2年生/その他)

(高校生)

● お金関連

- 「買いたいものがあった、お小遣いを稼ぎたかったから」(高校2年生/コンビニ・スーパー店員)

● 社会経験・就活関連

- 「社会に出たときに良い経験になるから」(高校1年生/宿泊施設のスタッフ)
- 「部活を引退して、自分でお金を稼いでみたかったから」(高校3年生/飲食店のホールスタッフ)

● その他

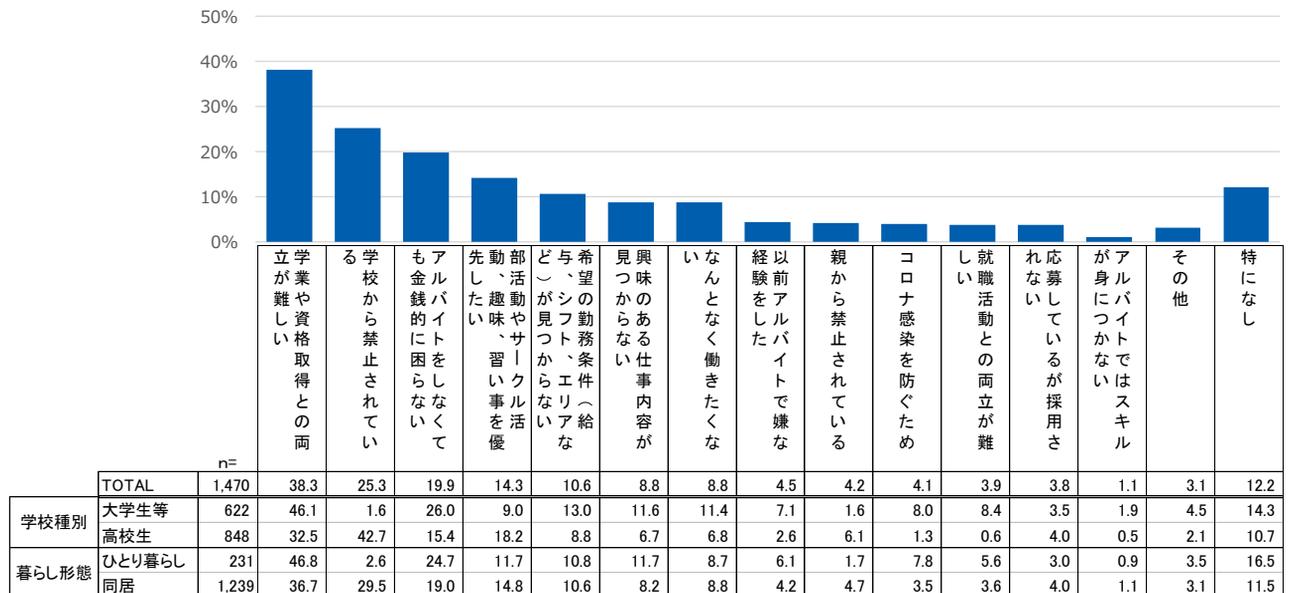
- 「暇な時間を有効に使いたかったから」(高校3年生/コンビニ・スーパー店員)

Part3 アルバイトをしている・していない理由

アルバイトをしていない理由では、全体では「学業や資格取得との両立が難しい」が38.3%で最多で、特に大学生等で46.1%と多くの回答を集めました。一方で高校生では、「学校から禁止されているから」が42.7%に上ります。「コロナ感染を防ぐため」は4.1%という結果でした。

学生のコメントでは、大学生等は「学業が忙しい」「他のことを優先したい」などのほか、「希望にあうアルバイトが見つからない」といった声が寄せられました。高校生では「学校で禁止されている」「受験に集中したい」などの理由が多く見られました。

● 3-3 アルバイトをしていない理由 (複数回答)【対象者：アルバイトをしていない人】



● 3-4 アルバイトをしていない理由に関するコメント (フリーコメント)【対象者：アルバイトをしていない人】

※括弧内は学校種別・学年

(大学生等)

- 「就活と卒業研究で、アルバイトのための時間を取れなかった」(大学4年生)
- 「学校の課題が多すぎて、アルバイトをする時間がない」(専門学校、各種学校生)
- 「自分のスケジュールにあうようなアルバイトがなかった」(大学1年生)
- 「自分にあいそうなアルバイトが見つからなかった」(大学1年生)
- 「お金に困っておらず、自分の時間を大切にしていた」(大学2年生)
- 「もうすぐ社会人になるので、それまで遊びたい」(大学4年生)
- 「コロナ禍のため」(短大生)

(高校生)

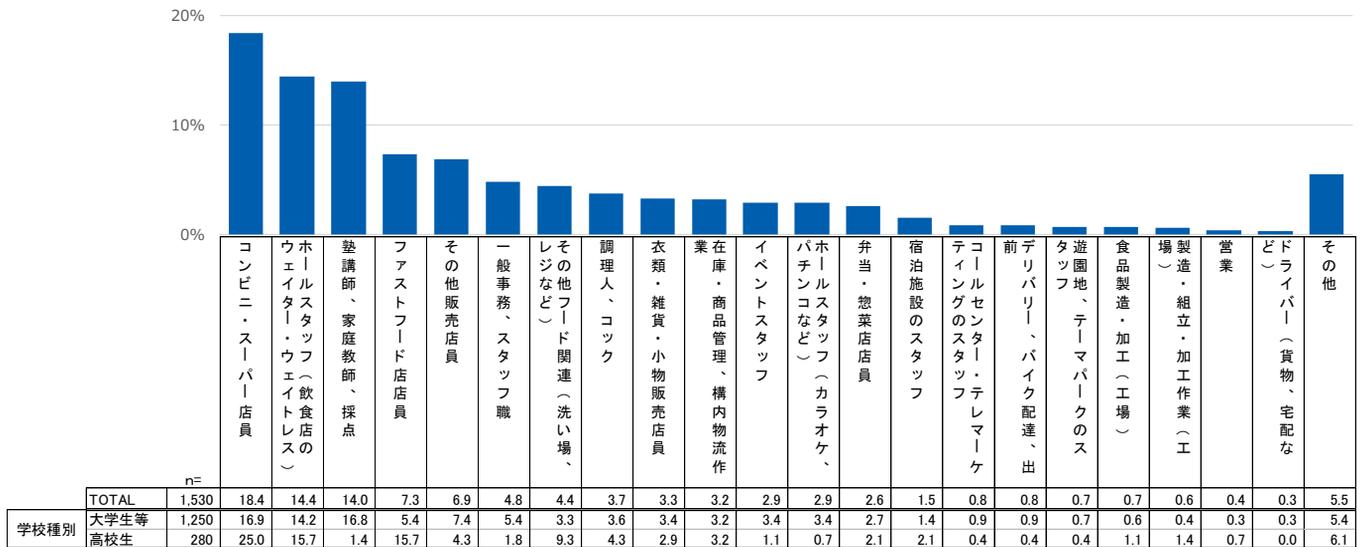
- 「受験勉強に集中するため」(高校3年生)
- 「校則で禁止されているのと、勉強などに時間を使いたいから」(高校2年生)
- 「親に禁止されているから」(高校2年生)
- 「学校が忙しく、単発のアルバイトを探したが、条件の良いものがなかった」(高校1年生)

Part4 現在のアルバイト事情

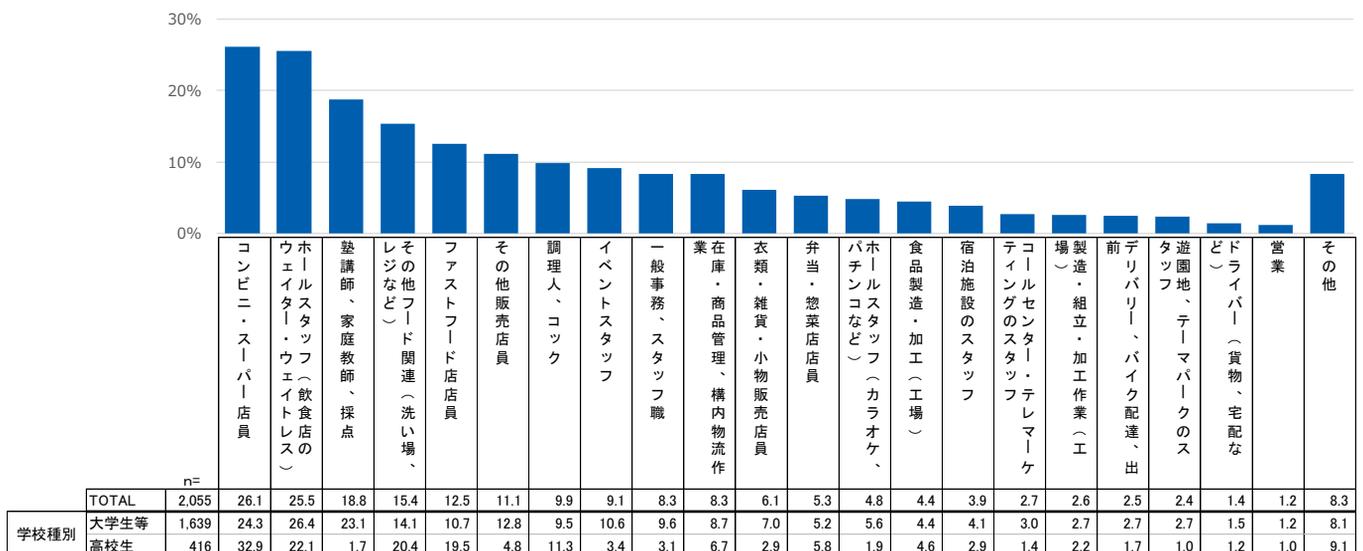
現在働いているアルバイトの仕事内容では、コンビニ・スーパー店員が18.4%で最多でした。なかでも、高校生は25.0%で、アルバイトをしている高校生の4人に1人がコンビニ・スーパー店員に従事していることが分かります。全体では飲食店のホールスタッフは14.4%で続きますが、大学生等に絞ると、塾講師、家庭教師、採点に次いで3番目という結果でした。塾講師、家庭教師、採点は大学生等で16.8%で、最多のコンビニ・スーパー店員とは0.1ポイントのみの差でした。

また、現在の仕事内容と、経験のある仕事内容では、順位などに大きな違いは見られませんでした。

● 4-1 現在のアルバイトの仕事内容 (単一回答)【対象者：アルバイトをしている人】



《参考》 経験のあるアルバイトの仕事内容 (複数回答)【対象者：アルバイトをしたことがある人】



Part4 現在のアルバイト事情

● 4-2 現在のアルバイトを選んだ理由 (フリーコメント)【対象者：アルバイトをしている人】

◆ コンビニ・スーパー店員

「近くて時給も良いから」(専門学校、各種高校生)
「通学途中にあるから」(大学1年生)
「家から近いのと、シフトの融通が利く。先輩が優しくかったから」(大学2年生)
「苦手なコミュニケーション能力を伸ばしたいと思ったから」(大学3年生)
「社会勉強のために、様々な人と接する仕事をしたかった」(専門学校、各種高校生)

◆ 飲食店のホールスタッフ

「授業終了後に夜3~4時間働けて、家から近いところにあったから」(大学院生)
「通勤時間が短く、賄いがついてくるから」(大学3年生)
「時給が良いから」(高校3年生)
「飲食店で働いてみたかった。人とコミュニケーションが取れる仕事が良かった」(大学3年生)
「飲食店のアルバイトが始めやすそうだったから」(大学3年生)

◆ 塾講師、家庭教師、採点

「人と関わる仕事をしたかった。時給が良かった」(大学1年生)
「自身の経験を活かせるのと、肉体的に楽だから」(大学2年生)
「オンラインの採点アルバイトは、時間を選ばずに働けるから」(大学院生)
「将来の役に立ちそうだったから」(大学3年生)
「昔通っていた塾の先生に誘われたから」(大学3年生)

◆ ファストフード店店員

「時給が良くて、自宅から近い職場だったから」(大学3年生)
「色々な人とコミュニケーションを取れるから」(高校3年生)
「友達が働いていてすすめられた」(高校3年生)

◆ その他販売店員

「シフトの融通が利きやすそうだったから」(大学2年生)
「前回販売の仕事をしていて、楽しかったから」(大学4年生)
「もともと興味のある仕事内容だったから」(大学2年生)

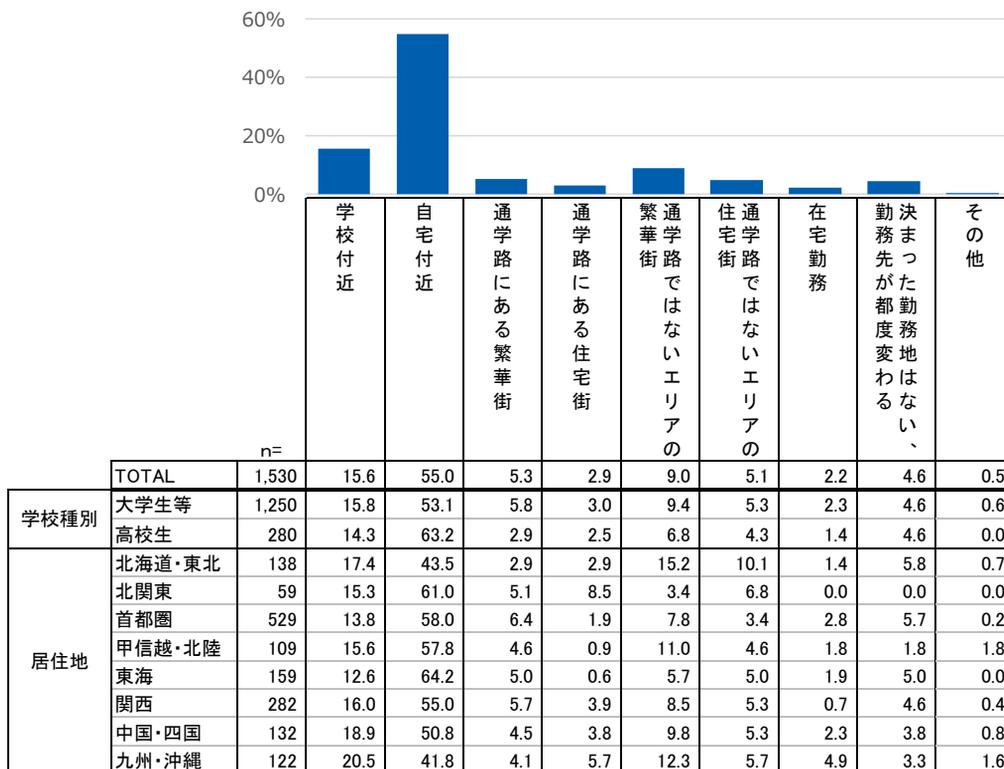
◆ その他 ※括弧内に仕事内容も記載

「リモートワークができたから。仕事内容にも興味があった」(大学4年生/一般事務、スタッフ職)
「学校から職場が近く、学校終わりからでも通える距離にあったから」(高校3年生/その他フード関連)
「クリーム対応をしなくていいから」(高校3年生/調理人、コック)
「調理するのが好きだから」(大学4年生/調理人、コック)
「以前から興味があって、経験してみたかった」(大学2年生/衣類・雑貨・小物販売店員)
「自分でもできそうな仕事内容だと思った」(大学4年生/在庫・商品管理、構内物流作業)
「単発で時間の融通が利くため」(大学4年生/イベントスタッフ)
「マナーが身につくと思ったから」(大学4年生/宿泊施設のスタッフ)

Part4 現在のアルバイト事情

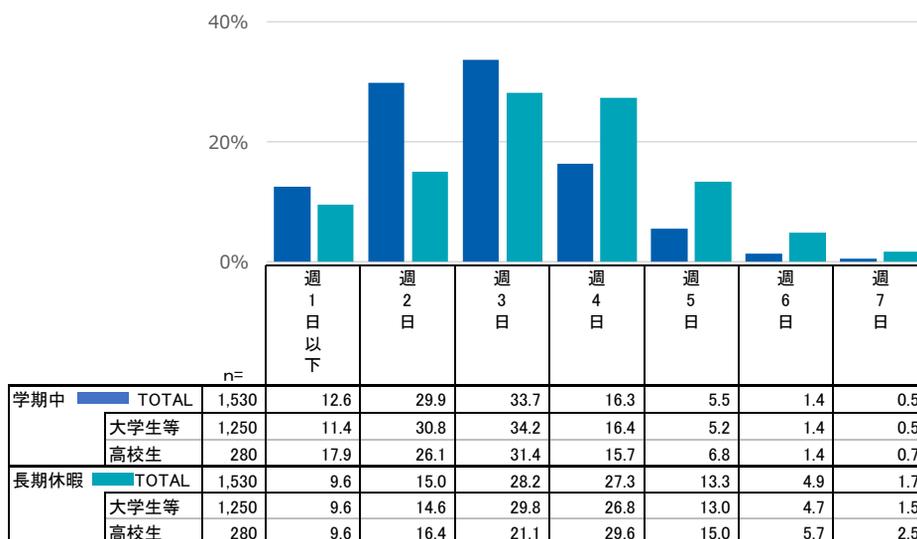
現在のアルバイト先（複数ある場合はより主たるもの）の勤務場所は、自宅付近が最も多く55.0%、学校付近が15.6%で続きました。学生のアルバイトは、コンビニ・スーパー店員や飲食店のホールスタッフなどの、対面での接客業務が多いため、コロナ禍で進んだ在宅勤務は限定的だといえます。

● 4-3 アルバイト先の勤務場所（単一回答）【対象者：アルバイトをしている人】



1週間の平均的な勤務日数について、学期中では、週3日が最も多く33.7%、週2日が29.9%という結果で、アルバイトをしている学生の6割強が週2～3日で勤務していることがわかります。長期休暇中では、週3～4日勤務が多くなりますが、学期中も長期休暇中も、大学生等と高校生では大きな違いは見られませんでした。

● 4-4 1週間の平均的な勤務日数（単一回答）【対象者：アルバイトをしている人】

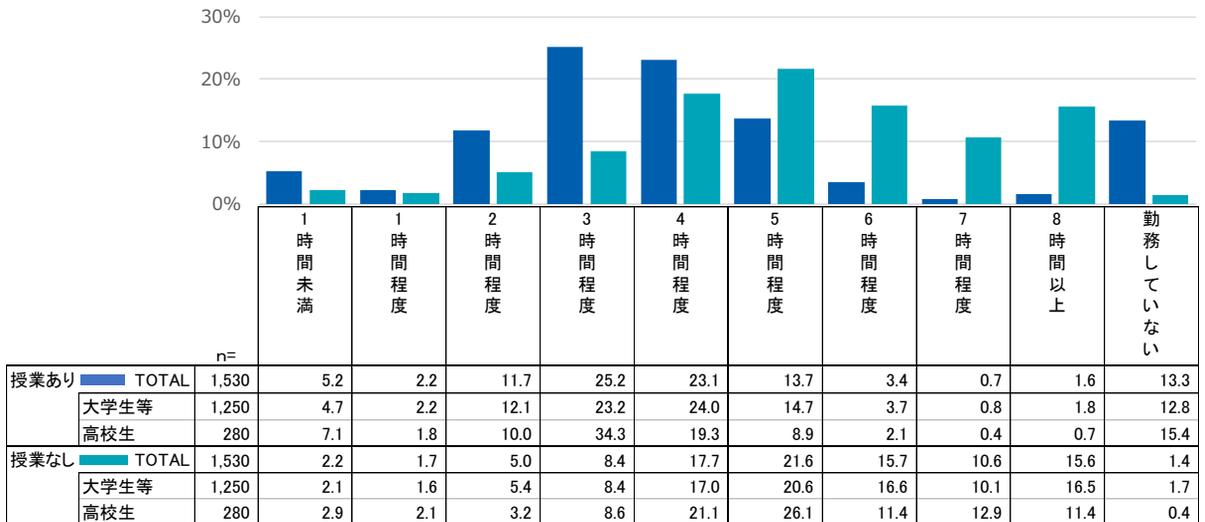


Part4 現在のアルバイト事情

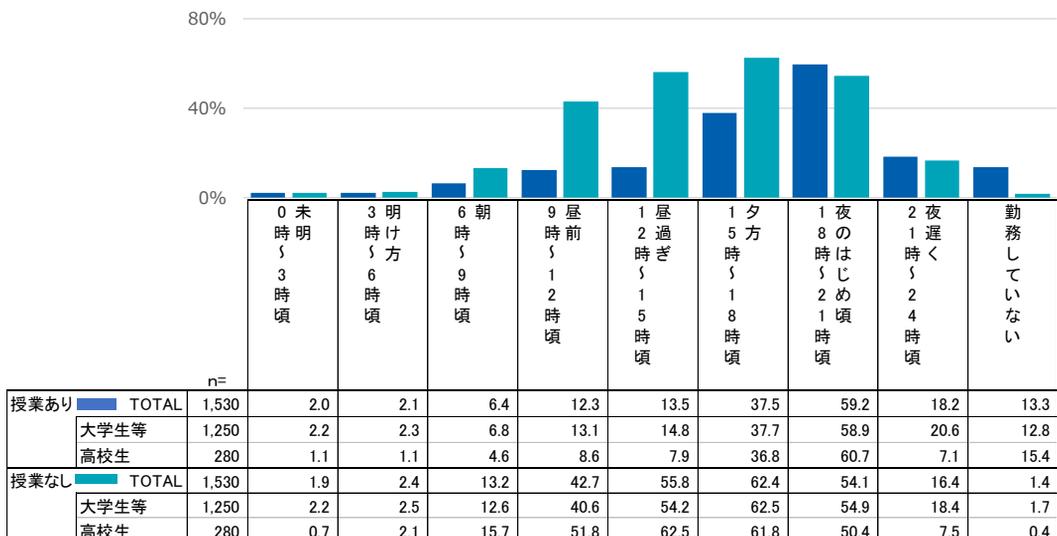
シフトあたりの勤務時間数では、授業がある日は授業前後での勤務となるため、3～4時間程度が多いようです。一方で、授業がない日は、4～6時間程度の勤務が5割強を占めるほか、8時間以上の長時間働く学生も15.6%います。

また、主な勤務時間帯では、授業がある日は、授業終わりの15:00～21:00頃の勤務が多いですが、授業がない日は9:00以降の早い時間からシフトに入り、比較的長い時間勤務していることが想定されます。

● 4-5 シフトあたりの勤務時間数 (単一回答)【対象者：アルバイトをしている人】



● 4-6 主な勤務時間帯 (複数回答)【対象者：アルバイトをしている人】

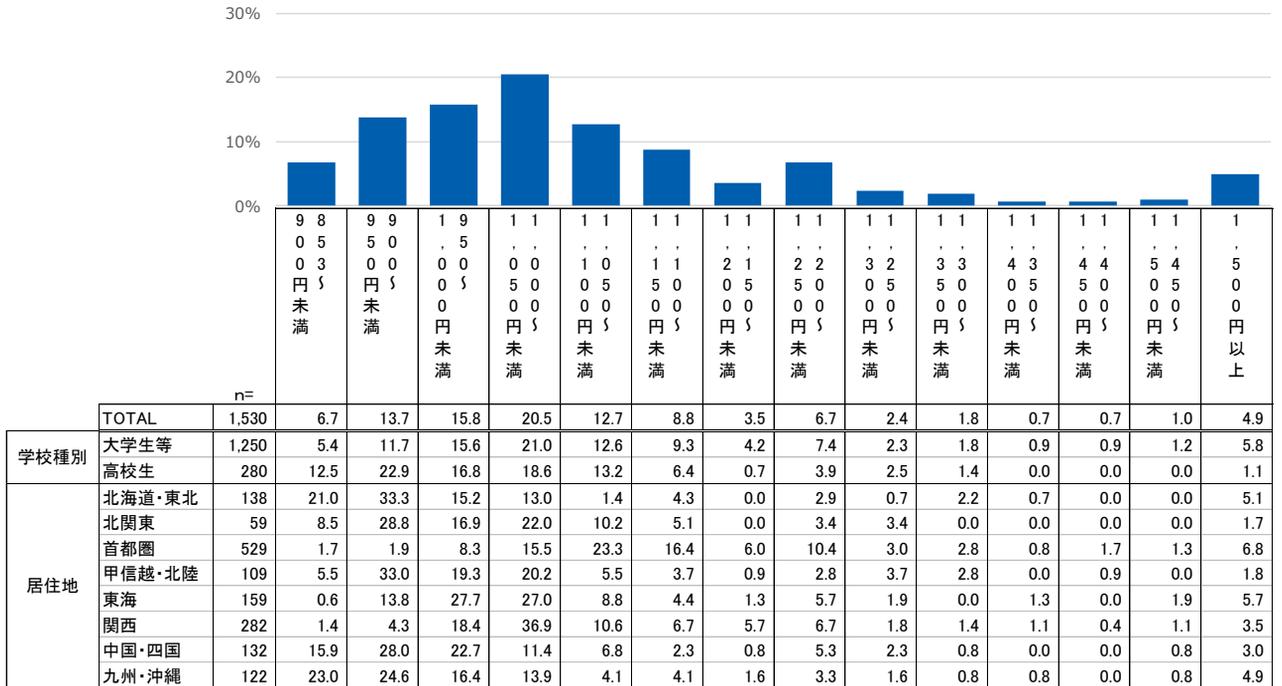


Part5 学生の収入状況

アルバイト先の時給は、最低賃金や物価などが地域によって異なるため、首都圏や関西が全体的に高くなっています。

給与の受け取り方法については、最も一般的な月1回払いが、制度としても多く使われており、また、主な受け取り方法としても最も選ばれていることが分かりました。なお、参考として、「[2022年12月 タウンワーク求人ワードデータ](#)」によると、タウンワークで検索されたワードのうち、関東や関西などの複数地域で「日払い」が上位5位以内に入っており、月1回払いに限らない給与の受け取り方法についてもニーズがあるといえそうです。

● 5-3 現在のアルバイトの時給 (単一回答)【対象者：アルバイトをしている人】



● 5-4 アルバイト先での給与の受け取り方法 (単一・複数回答)【対象者：アルバイトをしている人】

※「制度として使える」は複数回答、「主に利用している」は単一回答。

